

- ・市町村名 薩摩川内市(1) 鹿屋市(12) 霧島市(28) 日置市(3) 始良市(6) 指宿市(3)  
いちき串木野市(1) さつま町(1) 志布志市(2) 曾於市(10) 南さつま市(4)  
垂水市(2) 南九州市(1) 西之表市(1) 奄美市(1)  
初めて参加した(25) 参加したことがある(51)

### ■基調講演(濱田健一さんの講演)は、いかがでしたか？

- ・心に残る言葉の数々を頂きました。私自身も毎日、子どもたちとともに成長していけるように自己研鑽に努めたいと思います。世の中のことすべてはつながっている。社会事象と関連づけて全てを考えていきたいと思います。
- ・日々忙しさ、あわただしさの中で流されてしまうことを反省しました。
- ・とても良い講演を聴かせていただきました。人間は、ひとりひとり違うということや、「早くしなさい」ということばをなるべく使わないよう、明日からの指導に生かしていきたいと思います。
- ・自分自身が日々成長し、そして得たことなど子どもに伝え、また子どもから教えてもらう、忘れていたことを勉強させてもらいました。
- ・相談の7~8割がお母さんの子育て、生き方に不安ということにはビックリしました。
- ・子育て、子育ては親によって良い方向に変えることができるし、逆に悪い方向に向くこともあるということを知り、子どもは親をととても良く見ているんだなと思いました。相談の7~8割が子育てに対する不安だと聞き、ほとんどの親が子育てに悩みながら、子育てに頑張るよりよい子育てができるように一生懸命になっていて、私たち、学童で働く者は、子どもだけでなく親の支援も必要であると感じました。
- ・講演を聞いて心に残った言葉は、子どもに対して「早くしない」はよくないということです。「早くしなさい」というと子どもはオドオドしてしまうと聞いて、反省しました。宿題をしていない子どもに対して「早くしなさい」と使ってしまった。よくない言葉と話していたんだなと改めて気づくことができました。
- ・教育相談活動を通してのお話しでしたが、子どもたちだけでなく、その周囲の関わる人にも様々な悩みが生まれることが理解できた。また、日常の何気ない自分の言葉に、何か感じているであろう子どもたちのことも頭においておかななくてはと思う。子どもたちと一緒に、また自分も成長させてもらいたい。
- ・子どもに早く、早くを言ってしまう自分でした。子どもの気持ちになつての指導を心がけて行こうと思います。
- ・子どもたちの抱えている背景がはっきり見える時はいいのですが、「どうなのかなー？」と思うときもあります。聞いて構わないのであれば聞いています。話されてホッとされる保護者の方に会えると、よかったなと思います。(たまに子どもから聞くとときも…「僕のうちパパとママ、ケンカしているの」など…)複雑ですね。「子どもは一人ひとり違う」を頭に接していけたらと思います。
- ・話し方が心にひびきました。間のとり方がすばらしく、とても説得力のあるお話しでした。待つことの大切さ。痛感しました。ありがとうございました。
- ・よく子どもたちに“早く〇〇しなさい”と言ってしまいます。その言葉が子どもにとってキツイ言葉で、子どもを追い立ててしまっているのだということ、今日の講演で知ったので、日頃の言葉かけを見直すいいきっかけになりました。保護者のかわりに子どもが安心して学童で過ごせるように、子ども一人ひとりとしっかり向き合って、自分自身も子どもとともに成長していきたい、成長できる環境作りを心がけたいと思いました。
- ・子どもたちの現状の話聞き、改めて子どもたちの関わり方を教えていきたいと思った。
- ・私も子どもたちに対し、「早くして」という言葉を使わないよう気をつけているのですが、日々の慌ただしい生活の中でつい「早くして」と言ってしまい、「しまった…」と後悔することが多々あります。もっと子どもたちが過ごしやすく、指導員に対してもホッとできたり、何でも話せるような環境作りをしていかなければ、と思いました。子どもを育てるということは、子どもに‘育ててもらおう’ということと同じだということを胸に、子どもと互いに尊重し合えるようになりたいです。
- ・とても勉強になりました。事例が聞けて参考になりました。
- ・子どもたちは、それぞれ違う、皆一緒とは思わないこと。子どもの背景には大人の生きにくさがある。早くしなさいは、子どもにはきついことである。ホッとして、甘えたいと思う子どもたちを受け止める。話を聞くなかで、いろいろと考えさせられました。自分が成長する努力がひつようであると、今日から心にとめていきたいと思います。
- ・貴重なお話しがきけて、大変よかったと思います。
- ・子どもたちの育った環境によって内面的な問題があり、それに対してきちんと向き合うことの大切さを教えていただきました。ありがとうございました。
- ・実際に受けた教育相談事例で話をしてくださり、勉強になりました。人、一人ひとり全く違うことを頭に入れ、急がさないように子どもたちに関わりたいと思いました。

- ・プロジェクターやホワイトボードなどで話してくれたら、より分かりやすくなったと思います。
- ・自分も子どもに育ててもらっているという、視点も大切だというのがとても心に響きました。
- ・今までの経験された話はとても基調だと思いました。共感するところもあり、また知らない事も知らされたり感深い講演でした。
- ・初めて参加させていただきました。子育ての難しさ、大変さを改めて実感しました。一人ひとりの子どもに対する声かけ配慮など、常に考えて行動しなければならないということを学ぶ事ができ、よかったです。
- ・広い範囲で勉強になりました。
- ・相談事例が聞けてよかったです。
- ・実話がきけてためになった。
- ・難しかった。対子どもでできるように職員同士で、もう一度話し合いたい。
- ・自分がなにげなく使っている「早くして」は、子どもたちをいつの間にか追いつめてしまっていることを知りました。「学童は、自分そだての一角を子どもたちがになっている」という言葉が、心に残りました。子どもや自分自身も共に成長できる学童をつくりあげていきたいです。
- ・良かった。
- ・たいへん勉強になりました。
- ・子どもたちと接する時の個々の尊厳を大切に、指導員も成長することを学びました。とてもよかったです。
- ・優しく、思いやりを持ち、子どもたちと過ごしたいと思いました。仕事ですが、自分も育つことも出来るとの考えが、とても勉強になりました。保護者や子どもたちの語りの場面を大切にして、今後に生かしたいです。
- ・子どもの背後にいろんな状況のあることを理解して、子どもに接していく。
- ・いいお話を聞かせていただきました。私自身も長年教師をし、定年退職した（3年前）者ですので、お話しされる内容、濱田先生が感じられている事、全く同感です。人間、生きているからには、いくつになっても世の中を見、知り、考え、自分育てをしなればと思います。
- ・貴重な教育相談の事例を出していただき、1回切りの相談相手ではなく長期にわたって支援を続けられていられる事を知り、とても大切な仕事をされていらっしゃるのだなと思いました。学童に来る子どもの中にも不登校が長く続いていて、小学校を卒業して気になっていた子どもに久しぶりに会いましたが、何と声をかけて良いのか、考えさせられました。母親に会ったときに子どもさんの様子を聞いてはいましたが、笑顔が見れなかったことがとても心配です。
- ・参考になった。
- ・「65歳になる自分が成長する努力をしていないのに、なんで子どもに言うことができるのか」という、先生の言葉に心を打たれました。自分自身を振り返りました。
- ・子どもたちは「子育て」ではなく、自分の力で育っていく「子育て」を意識して、対応すべきなんだということがとても新鮮でした。いつも仕事の時、「早く(^\_^)」と口にしてることが多いので、子どもたちの状況を見て、もっと安心感を持って過ごせるように手助けしてあげたいなと思いました。
- ・色々な面から話が聞けて良かったです。自分探しを自分もしているので、自分を見つめ、これからも生きていけるよう学びの心を取り戻したいと思います。子どもとともに、学んでいこうと思います。
- ・新任の自覚と“学び”での指針が良かった。一人ひとり違ってあたりまえ！！親の仕事を理解して子どもを預かるよう！子育て…育っていくためのお手伝い。生きる力を身につけるアドバイスを！共に学び、自分自身育ての一局になっている事を忘れずに、研鑽していきましょう！
- ・子育て、子育てをはやくはやくではなく、ゆっくり、見守っていきたくと思います。
- ・分かりやすくて良かった。
- ・当たり前のことを話されていましたが、大変参考になることも多く、ありがとうございました。
- ・子どもの背景にある大きな事情がよくわかりました。子どもたちと一緒に成長できる指導員でありたいと切に思いました。
- ・自分が早くできないのに、「早くしなさい」…ついつい言ってしまうと反省しきりでした。貴重な講演ありがとうございました。
- ・一人ひとりが違うということを基本に考えて、子どもの気持ちを受け止めることの大切さが改めてよくわかりました。“早く”という言葉が子どもを追い立てているというお話しに、ドキッとして、“待つ”ことの大切さを、また学びました。
- ・いくつか例があって、普段聞けないような話が聞けた。まだ、小学生との関わりなどを知りたかった。
- ・教育相談事例から、どういう悩みでどういうふうな解決しつつあるかがよくわかりました。自分自身も3人の子育てをし、長年、児童クラブの指導員としてたくさん子どもたちとの関わりの中で、本当に一人ひとり違うので、日々勉強です。「早くして！！」を言わないように心がけます。ありがとうございました。
- ・お母さんの生きていく基盤が、グラグラしては子どもたちも不安定だということ。“はよせい、はよせい”が子

どもたちにとってはとても怖いことであるということ。子どもの適性をあまりにも早くから模索しすぎでは？ ということ。これらの点が印象に残りました。

- ・大変よい話をしてくださいました。
- ・時間の余裕がないなか、大切な指導をしてもらいました。
- ・「誰一人として、問題をかかえていない人は、いない」ということは、本当だなあ…と思うことで、改めて保護者や子どもたちと語り、聴いていきたいなあと思いました。
- ・いろいろお話が聞けて良かったと思います。事前にプリントに書いてあったテーマ、事柄について、もっとしっかりお話しがきけたらよかったです。
- ・具体的で分かりやすく、日々子どもたちとの関わりを見直すよききっかけになりました。「早くしなさい」と子どもたちをせかす言葉かけは、つとめてへらすようがんばります。
- ・教育相談活動から事例をあけての講演、大変勉強になり、今後現場で実践できるように勇気が持てた気がしました。子どもに、はよせんか、はよせんかは言わない。
- ・相談事例がわかりやく、おばあちゃんの心配においては、学童でもみられます。早く、早く…心が痛みます。気をつけたいです。
- ・子どもは、一人ひとり違うので、「はやく」の声かけはやめて、子どもたちの声に耳を傾けていきたいと思えます。
- ・教育相談にこられる方々の様々な事例をお聞きし、家庭の中で自分を認めてもらうこと、学校の先生の子どもへの対応の工夫、家庭の基盤がしっかりしていることなどが子ども、そして大人になってからの本人にとって、とても大切なことだということに改めて認識しました。社会の仕組みがダイレクトに子どもに繋がっていること、子どもたちが“早く”という言葉に急がされていること、自分も学童で子どもたちにそういうことが多いので、少しドキとして、考えさせられました。
- ・課題がはっきり見えてきてよかったです。
- ・時間が短かったのでは。
- ・子どもさんのことをよく見て、指導の仕方を考えていき、ためになりました。
- ・学童保育の仕事や自分の子育てを経て、今日のお話しをして下さったことに多く共感しました。子育て、子育ちを毎日の生活の中で実感できることで、ここまでこの仕事に関わってきたように思います。きついこともたくさんある中、喜びや得るものも多く、自分自身も少しは成長させていただいたと感じております。体力の続く限り、自分育ても怠らないようにしていこうと思えました。ありがとうございました。
- ・聴きながらメモするのは苦手なのですが、「急がせてはいけない」というのが、自分としては印象に残りました。自分の子どもとの関わりを振り返ってみる、「あれ、これ急がせすぎかも？」というようなことが、多くあったように思えます。「思い出す」というのもなのですが、こういった講義でいろいろと「再確認」することは多いので、参加して良かったと思います。
- ・すばらしいお話しをありがとうございました。両親の苦勞、不安が子どもたちの基盤を崩していくという現実を聞き、ショックを受けました。子どもたち、保護者からの相談に耳を傾けて、両者がホッとできる学童にしていきたいと思えました。
- ・「子どもたちは一人ひとり違う」「保護者の置かれている労働条件、経済状況を考えて」わかっているつもりでも登録児童の増加や指導員の不足でついつい、同じように動いて欲しいという気持ちが先に立っていたなと思いました。保護者にも、「もう少しこうしてくれたら」「子どもと時間をとってくれたら」と思ってしまうこと多かったなと反省でした。「一人ひとり違った対応を」いつも心にとめておきたいです。新年度を迎える上で、保護者の方全員と面談することになり、子どものこと、家庭のことを聞く機会が増え、忙しい中で子どものことを考え、頑張っておられることを知ることができました。時には、自分自身の悩みなどを聞くこともあり、何かアドバイスができるわけでもないですが、話すことで少し落ち着かれることもあり、それが子どもたちにもいい影響を与えてくれたらいいなと思っています。とても分かりやすく、気持ちを新たにすることができました。ありがとうございました。
- ・実話を元に話されて、もっとじっくり聞かせていただきたかったです。
- ・いろんな方の悩みを聞いて、一人の一人の対応など、聞いてすごいなあと思いました。「はやくしなさい」と言っている自分がいたので、気をつけようと思いました。
- ・誰一人として苦悩を抱えている人はいない。そして一人ひとり違うという言葉に、励まされたり、また子どもに向き合う自分の気持ちの持ち方にも、もう一度振り返り、自分とも向き合えないといけない…と思いました。
- ・指導員として関わっていく中での大切なお話しをしていただきました。私たちも子どもたちと一緒に成長していかなければいけないのだと、改めて思うことでした。
- ・身の回りのことだけでなく、新聞を読んで、経済・社会のことをよく知り、大人が日々勉強していくことが大切ですね。もっと視野を広くしないと、と思うことでした。
- ・子どもたちと一緒に自分も成長していかなければいけないということの大切さを教えていただきました。

## ■今回の研修会講座&分科会で印象に残ったことは、どんなことですか？

- ・(実践講座) 実際指導員をなされている田間さんのお話は、大変ためになることばかりでした。私自身も本が大好きなので、「読み聞かせ」を通じて、子どもたちに本の素晴らしさを伝えられたらなあと思いました。ぜひ、「読み聞かせ」を実践していきたいです。他の児童クラブの先生方の話を聞くことができ、良い経験ができました。ありがとうございました。
- ・(実践講座) もっと気持ちをゆったりとして、時間を過ごしてもいいのだなと思いました。分科会(グループ討議)で聞いた言葉に、「消しゴムはないのだよ」というのが心に残りました。
- ・(実践講座) 遊びに入っていない子など、いろいろな手だてを学ばせてもらいました。他の学童の先生方との情報交換も、初めてのことでいろいろな話ができ良かったです。
- ・(理論講座-1) ほめるという事は、行動の後から。行動を二回言う、先回りせずに、いつも余計なことまで自分を反省しました。
- ・(理論講座-1) 子どもたちに会いたくなりました。今まで4月の身体測定、9月もえーつと言いながらやってきました。とても深い意味があったんだと実感いたしました。子どもたちの成長に合わせ、服のにおい、もっと視野を広げて、子どもたちの行動後の2回ほめる!! ありがとうございました。
- ・(理論講座-1) 子どもの貧困は、目に見えて分かること(制服や体操服のよごれ、体臭等)の方が多くと思いますが、うちがわの部分にもあるということを知れた。『ほめる』のは、おだてるとは違う。子どもの行動をみとめ、鼓動したことをくり返して言うことが大切である。
- ・(理論講座-1) 子どもたちの関わり方について、たくさん知ることができました。学んだことをこれからの仕事に生かしていきたいです。
- ・(実践講座) 学童の運営の違いや場所等、さまざまでしたが、他の地域の学童の内容を聞くことができました。
- ・(実践講座) 実体験を元にしたお話しでとてもよく状況が分かりました。参考にしたいとお話しがたくさんありました。手遊びもとり入れてみたいです。ありがとうございました。
- ・(基礎講座) 4月から指導員をはじめます。みなさんの経験談。とても参考になりました!!
- ・(基礎講座) 学童保育は、遊びの場ではなく家庭の延長で、家庭とおなじ流れを作ることが大切なんだと思ったので、安心して過ごせる環境を作れるように努力しようと思いました。グループでの話し合いは、いろいろな話が聞けて、アドバイスもいただけたので、明日からの子どもとのかかわりに生かしていきたいです。
- ・他の学童クラブのことを知ることができ、とても参考になった。
- ・(基礎講座) 山口先生のお話をうかがい、児童クラブと学校との連携が大切だと改めて感じました。(私の児童クラブでも連絡なして家に帰る子どもがいるので…) また、他所の児童クラブの方々と色んな話をするのができ、とても充実した話し合いをすることができました。明日から、今日いただいたアドバイスを活かせたらいいなと感じています。
- ・(基礎講座) 意見交換が充実であった。また、このような話し合いを持ちたい。
- ・(基礎講座) 指導員としてのあり方を教えてもらった。子どもとの接し方(安心できる場所であること)、子どものよき理解者として、よい環境作りを…
- ・(基礎講座) 親の都合と子どもの気持ちを支えるのが指導員の仕事である。
- ・(基礎講座) 学童保育とは、がよくわかる話でした。分科会は、ほかの児童クラブの状況がわかり、共感したりとよい情報をいただきました。ありがとうございました。
- ・(基礎講座) 各児童クラブの話が聞けて大変参考になりました。今後の活動に生かしたいと思います。
- ・(基礎講座) それぞれの学童で取り組み方や考え方などがあり、良いと思った部分を生かしていきたい。
- ・(基礎講座) グループに分かれて、それぞれの学童の様子を聞いたりして、情報を共有できてとても良かった。もっと子どもたちとこれから信頼関係を築きたいと、改めて思いました。
- ・(基礎講座) 他の学童クラブの話が聞けてとても為になった。意見交換の場があるいいなと思いました。
- ・(基礎講座) みなさんの話を聞いて、すごく大変そうだなと感じたけど、やりがいや子どもと一緒に成長していくのが楽しみだと、とてもこれからワクワクしました。
- ・(基礎講座) 各地域の児童クラブの現状の話をいろいろ聞けて良かったです。私は指導員として何もかも初めてなので、参考にしていきたいと思うと共に、親身になって子どもたちと接していきたいです。
- ・(基礎講座) 現場にいらっしゃる先生方は色々と子どもたちの一人ひとりの事を考えられて、頑張られているのだなと思いました。
- ・(基礎講座) 児童クラブの設置年数が浅いこと、経験年数が短いことや、大変良く勉強になりました。今後活かしていきたいです。
- ・(基礎講座) グループトーク
- ・(基礎講座) グループで話ができ、アドバイス、アイデアが聞けて良かったです。

- ・(基礎講座) グループで話し合いを行ったとき、親が安心して仕事ができるように、生活を支えるような支援ができることが基本だと言われていた。それを頭に入れて、子どもと接し親や学校ともコミュニケーションをとらないと、と感じた。
- ・(基礎講座) 鹿兒島の様々な学童の指導員の方から、自分の学童に関する情報を知ることができました。ベテランの方から、新人の方まで一緒に話せる機会が少ないので、とても貴重な経験ができました。
- ・(基礎講座) 子どもとの関わり方や時間の使い方など、こまかい事も聞けて良かった。
- ・(基礎講座) 普段聞けないことや悩みをいろいろと聞けて良かったです。
- ・(基礎講座) 他の学童の話が聞けてよかった。
- ・(基礎講座) 他の児童クラブの様子がわかって良かった。
- ・(理論講座-2) よく子どもたちの話を聴いてあげようと思いました。(家族についても同じくそう思いました。) 時には、日頃やその時の心境で、「自分でしなさい」や「知りませんよ」と声をかけてしまったので、とても反省しました。自分で考えて欲しいときは、ただ見守るように気をつけたいです。
- ・(理論講座-2) 子どもに対してのリフレーミングの大事さを知った。
- ・(理論講座-1) 安村先生の現場からのお話を聞き、興味深く、またなるほどと「そうなんですよね!」と納得することありと、今の小学校の現場を予想はしていましたが、世の中(大人の様子、親の様子)も改めて考える機会となりました。ありがとうございます。後半のグループでの討議、霧島市のほのぼの児童クラブの先生方の話は目からウロコです。先生方から想像される人間の幼い日々から人生を経た年代の方々まで、人の一生を見守るほのぼののクラブを知り感動です。実際にその施設を訪問させていただき、拝見したいものです。
- ・(理論講座-1) 子どもの貧困については、テレビや新聞等で目や耳にしていますが、実際、養護教諭の先生より話を聞かせていただき、とても勉強になりました。子どもの体調が悪い時の対応の仕方も勉強になりました。
- ・(理論講座-1) 子どもの個々の発達状況が各人違うことを改めて認識した。総じて、できるようになる年齢が遅くなっているようだ。
- ・(理論講座-1) 先生が実例を挙げて話された事が、私の勤務する学童でもあてはまることばかりでした。子どもの気持ちも尊重しつつ、共に成長したいと思います。
- ・(理論講座-1) 子どもの貧困とは、そとがわ うちがわ どの程度関わっていけば良いのか、親との関係などなかなか難しい問題だなあと感じた。親に伝えても、わかっているのかいらないのか、どのへんまで踏み込んでいいのか? これからも指導員で話し合っていこうと思います。
- ・(理論講座-1) 子どもたちの「ありがとう」のお話しです。特別な日の特別な料理ではなく、普段の包丁の音や食材のにおいを子どもたちは覚えている。学童でも土曜日は毎週買ったお弁当の子もいます。それはそれでよいけれど、指導員として何かできるかを考えると、時にはお皿に入れてあげるとその子も他の子をうらやましがったり、気持ちが荒れたりすることも、少なくなるのかな~なんて思いました。
- ・(理論講座-1) 学校での「保健室」対応に不満に思っていたことがあったんですが、できることがこんなに限られているのは本当に驚きでした。子どもに「残念な気持ち」をためると、大変なことになるという事は、みんなに伝えて広めていこうと思いました。児童クラブの「腹ペコ」な子たちを、もう少し注意深く見守っていきたいと思います。
- ・(理論講座-1) 楽しいかごしま弁、ありがとうございます。生(お)やす、児童クラブにもみんなに読んで聞かせたいと思います。先生の学校での様子がわかり、私もやさしい気持ちになれました。これからも児童クラブの実践にいかして行こうと思います。
- ・(実践講座) 三つの間がへって来ている(さんま) ・時間の間 ・遊ぶ空間 ・仲間 について考えてみましょう。学童に来てからの一時間の大切さ(聞いてあげるゆとり)、せわしないことばをなげかけている…!? 反省。遊びへの係り方~子どもは遊びの天才。遊んでもらってください。「先生! 楽しかったヨ」という。気移りすることは、興味津々に色々なことにアンテナを張っている。芽をつまない。(片付けヘタ) けっこう。
- ・(理論講座-1) 基本的な子どもの成長から入ってお話をいただき、子どもの「そとがわ」から見えてくることなど毎日の生活の中で、幅広く気づけるようにして行きたいと思います。
- ・(実践講座) 最後のグループ討議で色々な意見で盛り上がり、まだ時間が足りないくらいでした。
- ・(理論講座-1) 参考になることばかりで、ありがとうございます。今後も児童クラブに充分生かして生きたいと思います。
- ・(実践講座) 1年生から高学年で一緒に時間を少しでも共有することの大切さを学びました。遊びに指導員が張り切って入っていくのではなく、場面、場面も見ながら入ったり、見守ったりすることが大事なのだと学び、その中でほめる事の大切さを学びました。また、わらべうた、絵本の読み聞かせの大切さを知りました。
- ・(実践講座) お話しが面白くて3時間があっという間でした。あそびから言語能力は伸びてくる。だから、大人がそのお手本を示してあげること。これから実践したいです。“あそび”とても大事ですね。興味深い講座ありがとうございました。

- ・(理論講座－1) なぜ小学校が6歳からなのか。先生からの別紙プリント(生活力)テストでわかり、納得しました。貧困の実態を聞いて、正直、テレビで見たことと同じで驚いたことと、私の学童の中には、幸いなことに該当する子がなくて、恵まれていると感じました。このことを心にとめて、どんな子どもに対しても真剣にむきあおうと思いました。小グループでの話し合いも、他の学童でのことがわかり参考になりました。
- ・(基礎講座) 他の学童との保育内容が違う部分が多かったのが少し驚きでした。色々と参考になりました。
- ・(理論講座－1) 貧困は、家庭の事情ですが、クラブでフォローできる部分で考えていきたいと思います。「生きる力」…「自分のことは、自分でできる」をめざして、様々な体験をさせたいと思います。保健面で一番大切なのは、子どもの声、保護者の声をしっかり聞ける指導員でありたいと思います。
- ・(理論講座－1) 母親が安心しないと子どもも安心しない、ということ。お母さん同士でお話すること、つながりができることが大事、ということ。子どもも、頭ではわかっているけど、残念な気持ちはずっと残ってしまうということ。母親のことが心配で、早く家に帰りたがるというお子さんのお話。ほめ方を教えていただいたこと。以上の点が印象的でした。
- ・(実践講座) 田間先生の指導が本当によかったです。グループ討議の時間をもっと早くしては。全員で、よか意見もできました。
- ・(実践講座) 個人と集団の時間で…1年目にしていた「帰りの会」。つつい毎日の生活に追われ、2年目に回数が減り、3年目の今年はしませんでした。改めて自分の仕事、子どもとの接し方について、考える機会になりました。
- ・(実践講座) 様々な地域の方の先生方と情報交流ができ、とても楽しく参加できました。グループ討議では、普段悩んでいることなどがテーマになっており、たいへん勉強になりました。
- ・(理論講座－1) 生活力を育てよう！ 私の思っている年齢とは差がありました。子育て中はみていたことが、今は孫の様子を思い出して書いてみました。子どもは自分でできることは、早い段階だったんですね。勉強になりました。いじめは、性的いじめに発展することを知り、注意深く見守りたいと思います。ちょっとしたふざけも注視しなければと…。
- ・(理論講座－1) 子どもたちとの関わり方、保護者との対話を多くする、学童保育での出来事(よいこと)話を。ほめてやる。
- ・(理論講座－1) 保健室の大切さ。時には、本当に指導員も行けたらな！と思うことでした。明日からほめまくりたいです。
- ・(実践講座) わらべうた遊び、とても楽しかったです。帰りの会、読み聞かせしていきたいと思います。刺激を受けました。
- ・(理論講座－1) 手をかけられていない子どもがいること、保健室の先生が洗濯をいっている、夏休みに食べ物が無くて、9月の給食で体重が減っている子ども、いじめの問題、実際にそういった事柄が身近にあるのだということに驚きました。グループワークをしている時に、トイレの問題が話に上がっていて、男の子は特に大便が学校のトイレで出来ないという話で、自分の学童でも男の子がトイレに入りづらくしていることがあり、考えさせられました。トイレのことは、自分自身も振り返ってみて、とてもデリケートな部分であり悩んだこともあったので、とても印象に残りました。
- ・(実践講座) いろんな学童の実態を知れて良かった。ほかの指導員の方たちと話をして、共感したり学ぶこともたくさんあった。仕事に対してやる気が高まった。
- ・(理論講座－1) 「子どもの育ち」について、よくわかった。しかし、現状とはずいぶん違うと思った。現状はもっと遅いです。グループ討議になり、近況が聞けて良かった。男性が学童に参加することで違う一面を知ることができた。
- ・(実践講座) 色々な話を聞いて勉強になりました。わらべうたが、とても良かった。
- ・(理論講座－1) 子どもの貧困については、保護者にその子どものことについて話すには難しい面があり、解決しにくい問題だと思います。でも、この講義でコミュニケーションをとることによって、話しやすくなることがわかりました。
- ・(理論講座－1) 学校で養護教諭としてかかわっておられることで、学童でも同じような関わり方をしているので共感できるところがたくさんありました。子どもたちは学校でも家庭でもいい子であって、ストレスをはき出すところが学童しかないのかも、と思われる子もいたり、学校や家庭ではみせない姿をさらけだし、甘えてくる子もいたり、家庭(母親)との信頼関係が得られる状況に持っていく努力もしていき、いい方向に向いてきていることもあります。
- ・(理論講座－1) 最初にやった「生活力を育てよう」の心理テスト。何となくで書いた年齢が、答え(大体)と大きく食い違っている部分があって、子どもの自立というか「自分でできるようになる」「やろうとする気持ち」が芽生えるのは、自分が考えているよりも、はるかに早いんだな思ったこと。「ほめる」の本当のイメージについて、今まで自分がやってきたほめ方は、「おだてる」に含まれていたことに気づいたこと。
- ・(理論講座－1) 冒頭での「生活力を育てよう！」で、ほとんどのことが幼児期にできることにビックリしました。

私は幼児教育を学ばず、いきなり学童の指導員となったため、小学生の現状しか知りませんが、小学1年生でこの項目を全部クリアできる子どもが、一体何人いるのかな？と思いました。できない子どもが多いと感じています。

「ストレスをためない」というお話しは、私自身、お母さん方の話を聞いていて、重いものがたまってきた、休みの日は家から一步も出たくない、人に会いたくないという状態になることがあり、何とかしなければと思った時期がありました。信頼できる指導員仲間聞いてもらうこととで、解消することができました。今日のお話しを聞いて、話をする大切さを改めて思いました。

- ついついまんねりして気持ちを新たに、子どもたちのために頑張ろうと思いました。どの児童クラブも同じだなと、納得しました。
- (実践講座) 田間先生の話聞いて、どこの学童も同じ悩みをかかえていて、安心した自分がいました。本当にすべてが共感することばかりで、とても勉強になりました。いろんな学童の先生とお話しができて楽しかったです。
- (理論講座-1) 学童がある意義の一つとして、子どもだけではなく、保護者にとってもホッとできる親の悩みも吐き出せる、学校の中の保健室のような存在になって欲しい、と言われたことが強く印象に残りました。
- (実践講座) 実践を通してのお話しで、毎日の生活がとてもよくわかりやすく、また共感できることも多く、いい勉強になりました。
- (実践講座) 田間先生のお話で、日々、体験、感じていることが多く、ホッとすることでした。「わらべうた」も、久々に耳にしました。小学生にも、とても良いですね。分科会(グループ討議)では、毎日の仕事の悩みを出し合い、「また、頑張っていきましょう」と励まし合うことでした。ややマンネリ化していた自分の気持ちがリフレッシュしました。ありがとうございました。
- (理論講座-1) 私たちが考えていなかった学校の様子。学校の先生も一生懸命なんだということ。子どもたちの「ありがとう」というところで、夏休み、春休みの手作りのおいしい物を一生懸命作ろうかと思いました。親御さんとの会話のやり方(何かしら、情報を話して下さるようになる)

#### ■今後、どんな研修会に参加してみたいですか。

- 今回のような研修は、一番心に残りました。次回も今回のような研修がうれしいです。
- 特に話す議題もなくの、情報交換の場の会もあって良いのかと、思いました。
- 障がいのある子どもとの関わり方。
- 夏休み(長期休み)の過ごし方。
- 今回のような違う学童の話をしたり聞いたりしたいです。
- 経験を積んでこられた指導員の方々との交流、意見交換等。
- また、同じく子どもに対する声かけなど、具体的な学童について学びたい。
- 今回のようなグループ討議。
- 情報交換等の交流会に参加してみたいです。
- 遊び
- 同地区での情報交換ができる場がほしい。
- 実践あそび(紙工作、折り紙、新聞紙、お手玉など室内や外でのあそび)
- 今回が初めての参加でしたのでわかりませんが、次回もぜひ参加させていただきます。
- 年々増えている「気になる子どもたち」(パステルゾーンの子どものたち)への対応の仕方について(親対応も含めて)
- また、安村先生の話聞いてみたいです。
- また、実践講座を聞きたい。各学童クラブのご苦勞を聞かせていただき、学習したい。
- 児童クラブの指導員として、どのように一人ひとりの子どもに寄り添っていったらよいのか。
- 発達障害について
- 今回は、昨年と違い交通の面でも参加しやすいでした。
- 一つの分科会しか参加できなかったのも、またの研修会で別の分科会に参加したいです。
- 調理の研修会に参加してみたいです。
- 実践(経験)を交えた講話や実技(遊びや工作)
- もっともっと、それぞれの児童クラブの話聞けるような流れの研修会を開いてほしい。
- 次は、違う分科会を受けて、またお話しを聞きたいです。
- 本日みたいな会で、勉強になります。